

東京教区時報

第1138号
2009年10月11日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskkg.org
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

司祭 ミカエル 津田昌男

東京教区退職司祭。10月5日逝去、87歳。7日・8日、聖パウロ教会で通夜・葬送式が行われた。神戸聖ミカエル、米子聖ニコラス、大阪聖パウロ各教会を経て1969年、東京教区へ移籍。聖パウロ・聖救主等の牧師を歴任し、その間に3年ほどの沖縄教区出向を経て1993年退職。召された魂のうえに主の平安がありますよう。

▽銀座朝拝会 10月13日・27日(第2・4火曜) 7時半、ルノール喫茶室ニユー銀座。照会 042(796)1498・世話人。
▽西新の会 13日(火) 19時半・聖餐式(高橋頭司祭)、27

今週・来週の予定

10月11日~24日

- 11(日) 聖霊降臨後第19主日 主教巡回 千住基督教会
- 12(月・休) 主教巡回 渋谷聖公会聖ミカエル教会
- 13(火) 銀座朝拝会 財政委員会 聖職養成委員会
- 14(水) 信仰と生活: 講演会①
- 15(木) 人権: 日の丸・君が代 聖職養成委員会 (神学院)
- 16(金) 常置委員会
- 18(日) 聖霊降臨後第20主日 主教巡回 聖ルカ礼拝堂
- 19(月) 城南G 牧師協議会 (真光)
- 20(火) 主教会(〜22・札幌)
- 21(水) 教役者レクイエム 信仰と生活委員会
- 22(木) 信仰と生活: 講演会②
- 23(金) 山手G 牧師協議会 (聖愛)

日(火) 10時半・聖書の学び(関正勝司祭、井草地域区民センター。照会 03(3951)5010・目白聖公会。
▽10月ランチタイム・オルガンコンサート *聖テモテ18日(日) 14時(バザーの折)、黒岩里美 *神田キリスト11日(水) 12時20分、和田純子 各々30分程度、入場無料。
◇秋のバザー(3) ▽10月18日 聖アグネス(10時〜14時)、聖アンデレ(11時半〜14時半)・聖テモテ(同、14時からオルガンコンサート)、八王子(11時45分〜14時半)、聖ペテロ(12時〜14時半)、諸聖徒(12時〜15時) ▽22日 聖マリア(10時半〜16時・ガレージセル)。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

去る9月23日は、10年間の日本生活の中で一番規模の大きい礼拝に出席した。目白のカトリック聖マリア大聖堂で行われた日本聖公会宣教150周年記念聖餐式は、3千人を超える会衆で熱気にあふれた。音響の関係で祭壇上の一部の方がカントベリー大主教の説教を聞きにくかったことは残念だったが、聖餐の恵みで一同が一つになったことは紛れもないだろう。是非当日のメッセージを確認していただきたい。裸足での宣教ノイエスに倣ってサングダルを履き、謙虚な姿で...、これからの日本での宣教への指を、心に刻んでいきたい。

改めて宣教150周年記念聖句を思い巡らす。「深い海に行つて網を降ろし漁をしないさい」(ルカ5・4)。もう151周年、2

《み手のなかで》

船と網を補い、漁師を励まし、舵取りに従い

百周年に向けて新たな歩みを踏み出したわけだが、いくつか確認すべきことがある。先ず、深い海に漕ぎ出していくためには丈夫な船が必要だ。日本聖公会という宣教船は、果たしてどうなのか。聖職と信徒とで編み出す信仰と生活の網はどうなのか。それに船を進めるには、動力が必要だし、海風の向きを図る力も求められる。また、船長をはじめとして一人でも多くの人々が力合わせて同じ向きに進んでいかなければ、船はどこに向かうだろう。魚をとるどころか、方向をめぐつて言い争うだけで、世間の荒波に飲み込まれ、肝心な漁はダメになってしまう。船と網は宣教のための器を整備し、聖職・信徒は漁師が一丸となって、主教会や管区のリードシップは舵取りに従って、イエスの裸足の姿に倣って新たな歩みを力強く踏み出そう、と互いに声を掛け合う時だ。

(立教大学チャプレン)

信仰と生活委員会報告

(9月17日)

*青年活動支援部会・中高生世
代有志支援団体よりキャンペーン
施を中心とした報告。

*各教会G協議会報告。

*秋の2信徒講座の企画進捗報
告①柳時京司祭講座Ⅱ10月中
2回Ⅱ別掲、②竹内謙太郎司祭
講座Ⅱ11月6日・20日。

*教区大運動会(明年の実施へ

向けて再検討)確認、聖書通信
学習企画を継続審議。

*SSS(子どもニュース第14
号)発刊報告。

*その他。

▽秋の信徒講座(一部既報)

信仰と生活委員会主催、柳時
京司祭講演会「世間とイエスの
常識」。①10月14日(水)「鳥は
左右両翼で飛ぶ」、②22日(木)

公 示

日本聖公会東京教区第109
(定期)教区会を下記のように
招集します

教主降生2009年10月1日
日本聖公会東京教区
教区会議長
主教 ペテロ 植田仁太郎

記

日時: 11月23日(月・休日)

午前9時から午後5時まで

場所: 開会聖餐式:

聖アンデレ主教座聖堂
議 場: 聖アンデレホール
東京都港区芝公園3-6-18

書記を次のように任命する。

司祭 ビード 李 民洙
執事 パウロ 中村 淳
以上

「世間の常識、イエスの常識」。
いずれも19時〜21時、教区会館
3階、参加費各500円。柳講師
は韓国ソウル教区より10年近く
東京教区へ出向し立教大学チャ
プレンとして奉職中ながら、明
春の帰国を前にして東京教区へ
残す提言?の機会ともなる講演
会。照会などは教区事務所宣教
主事宛に。

▽宣教150周年記念礼拝D
VD発売の予約受付 9月23日
記念礼拝(説教Ⅱカンタベリー
大主教)、22日夕の礼拝(説教Ⅱ
米国聖公会総裁主教)。全3時
間。11月発売予定で予約受付を
始めている。頒価Ⅱ千円(送料
込み)。照会は教区事務所気付同
礼拝実行委員会代行(足立宣教
主事または高柳職員)。

【クローズアップ】26

姉妹教会との交流

当教会は、東北教区主教の仲
介で2007年に秋田・大館聖
パウロ教会と姉妹教会関係を結
びました。毎主日の代祷で互い
に祈り合い、週報や資料を交換
し、時に相互訪問して交流を続
けています。環境も課題も異な
る二つの教会が交わり、学び合
うことで、互いの向上を願って
います。

今年、日本聖公会宣教150
周年記念プログラム「みんな集
まれ!」にブース出展(店)の
募集があった時、大館教会と共
同で出店したいとの声が上が
りました。7月に大館教会に講演
を依頼された当教会信徒に、3
人が同行し、懇親の場で共同出

店について提案すると、快諾さ
れました。独自の出店は考えら
れなかったとのこと、皆は喜び
に包まれました。

出店内容は即決でした。大館
教会からは三五八漬の素。東北
の名物で簡単に美味しい漬物が
出来、当教会でも好評です。私
達は手作りのケーキとクッ
キー。昨年から青年達が、主日
にケーキやクッキーを販売し、
その資金で夏に大館を訪問して
います。婦人達もそれを手伝っ
ています。今年も7人の青年達
が大館を訪問し、心に大きな贈
り物を戴いて帰って来ました。
小さな子ども達が司式し、幼稚
園の先生方が見守る日曜学校の
礼拝、信徒達が大切に守る聖餐
式、一つのテーブルを囲む家族

のような愛餐会、その中に里帰
りした子どものように迎えられ
たのです。

ブース出店当日(9月22日・
立教大学池袋キャンパス)、両教
会有志が集まり、その輪の中に
青年達も加わりました。婦人達
が心を込めたケーキやクッキ
ーも、大館の方々が用意した三五
八漬の素も好評で完売でした。
姉妹教会の歩みをまとめたパネ
ル展示にも関心が寄せられまし
た。150周年の記念に共に働
けたことは喜びであり感謝で
す。歩み始めた姉妹教会の上に
主の恵みが与えられ、健やかな
成長を見守ってくれる事を祈り
求めます。

聖マーガレット教会

海 宝 晋 一